

上場会社名 株式会社 gumi 上場取引所 東
 コード番号 3903 URL https://gu3.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川本 寛之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 本吉 誠 (TEL) 03 (5358) 5322
 四半期報告書提出予定日 2022年3月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年4月期第3四半期の連結業績(2021年5月1日~2022年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年4月期第3四半期	14,128	△4.8	△1,921	—	△3,178	—	△5,129	—
2021年4月期第3四半期	14,845	1.9	1,854	42.9	2,837	133.0	1,598	272.5

(注) 包括利益 2022年4月期第3四半期 △5,104百万円(—%) 2021年4月期第3四半期 1,600百万円(719.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年4月期第3四半期	△174.77	—
2021年4月期第3四半期	52.90	52.26

- (注) 1. 2022年4月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。
 2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年4月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年4月期第3四半期	19,958	10,888	50.0
2021年4月期	25,012	17,190	64.7

(参考) 自己資本 2022年4月期第3四半期 9,975百万円 2021年4月期 16,189百万円

- (注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年4月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年4月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年4月期	—	0.00	—	—	—
2022年4月期(予想)	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2022年4月期の期末配当金につきましては、現在未定です。

3. 2022年4月期の連結業績予想(2021年5月1日~2022年4月30日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をしておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年4月期3Q	31,268,400株	2021年4月期	31,231,900株
② 期末自己株式数	2022年4月期3Q	2,101,039株	2021年4月期	980,039株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年4月期3Q	29,351,600株	2021年4月期3Q	30,220,748株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は14,128,786千円（前年同期比4.8%減）、営業損失は1,921,843千円（前年同期は1,854,476千円の営業利益）、経常損失は3,178,625千円（前年同期は2,837,749千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5,129,722千円（前年同期は1,598,527千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの状況は次のとおりであります。

（モバイルオンラインゲーム事業）

売上高に関しては、「乃木坂のフラクタル」や「ラグナドール 妖しき皇帝と終焉の夜叉姫」等、第2四半期より配信を開始した新規タイトルの売上寄与はあったものの、その他主力タイトルにおいて配信期間の長期化により売上が減少したことに伴い、前年同期比で減収となりました。

営業利益に関しては、売上高の減少に加え、新規タイトルの開発に係る外注費の増加や一部新規タイトルにおける大型プロモーションの実施による広告宣伝費の増加等に伴い、前年同期比で減益となりました。

この結果、売上高は13,981,061千円（前年同期比5.4%減）、営業損失は1,913,900千円（前年同期は2,012,033千円の営業利益）となりました。

（XR事業（VR、AR、MR等））

XR事業に関しては、将来、市場の急拡大が見込まれるXR市場において早期に優位なポジションを築くことが重要な課題であると考えております。当社グループは、市場の状況に合わせて投資を行っていく方針であり、市場の黎明期においては国内外にて主にファンド出資を通じたXR関連企業の成長支援を実施し、また成長期においてはコンテンツの開発を主体的に取り組み、XR事業の収益化を目指しております。

当第3四半期連結累計期間においては、主にファンド出資等を通じ、有力な技術・コンテンツ・人材を保有する企業との戦略的な連携を図ってまいりました。

この結果、営業損失は44,513千円（前年同期は122,803千円の営業損失）となりました。

（ブロックチェーン事業）

ブロックチェーン事業に関しては、当該事業を取り巻く法令及び行政の対応等を踏まえつつ、国内外の有力企業への投資を通じ、早期の収益化を目指しております。

当第3四半期連結累計期間においては、主に株式会社gumi Cryptosで行っているコンセンサスノードの運営売上が寄与いたしました。また、引き続き株式会社gumi Cryptosを通じ、新たなテクノロジーを活用する世界各国のブロックチェーン企業に対し、様々な支援を提供いたしました。

この結果、売上高は147,724千円（前年同期比103.7%増）、営業利益は36,570千円（前年同期は34,753千円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は19,958,627千円となり、前連結会計年度末比5,053,667千円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少及びその他の関係会社有価証券の減少によるものであります。

負債は9,070,007千円となり、前連結会計年度末比1,248,150千円増加しました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の増加によるものであります。

純資産は10,888,620千円となり、前連結会計年度末比6,301,817千円の減少となりました。なお、自己資本比率は50.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月期につきましては、モバイルオンラインゲーム事業においては、既存主力タイトルの売上の維持、拡大を図るとともに、高品質な新規タイトルの配信を行うことにより、売上高及び利益の更なる拡大を図ってまいります。

XR事業及びブロックチェーン事業に関しては、市場の拡大に合わせて既存投資先との戦略的提携やコンテンツ開発等を推進し、当該事業領域において優位なポジションを築くとともに、早期の収益化に向け取り組んでまいります。

なお、モバイルオンラインゲーム事業、XR事業及びブロックチェーン事業を取り巻く事業環境の変化が激しく、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難であることから、2021年4月期より業績予想を非開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,492,510	7,148,909
売掛金及び契約資産	1,812,179	2,270,910
その他	3,280,230	2,529,117
流動資産合計	13,584,920	11,948,937
固定資産		
有形固定資産	135,386	134,293
無形固定資産		
ソフトウェア	493,142	441,144
ソフトウェア仮勘定	3,405,522	2,163,906
その他	73,855	37,252
無形固定資産合計	3,972,519	2,642,303
投資その他の資産		
投資有価証券	1,823,758	1,782,612
その他の関係会社有価証券	3,671,840	2,185,260
その他	1,823,870	1,265,219
投資その他の資産合計	7,319,469	5,233,092
固定資産合計	11,427,375	8,009,690
資産合計	25,012,295	19,958,627

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	542,982	488,469
1年内返済予定の長期借入金	1,999,734	2,632,540
未払法人税等	763,577	68,110
賞与引当金	100,239	76,380
その他	1,169,477	1,826,997
流動負債合計	4,576,010	5,092,497
固定負債		
長期借入金	2,500,404	3,776,261
資産除去債務	114,145	115,553
その他	631,297	85,695
固定負債合計	3,245,846	3,977,510
負債合計	7,821,857	9,070,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,399,470	9,416,668
資本剰余金	3,407,249	3,424,447
利益剰余金	4,336,840	△1,074,191
自己株式	△1,058,438	△2,058,370
株主資本合計	16,085,121	9,708,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,790	52,152
為替換算調整勘定	29,978	214,918
その他の包括利益累計額合計	104,769	267,071
新株予約権	316,551	365,625
非支配株主持分	683,995	547,370
純資産合計	17,190,437	10,888,620
負債純資産合計	25,012,295	19,958,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)
売上高	14,845,141	14,128,786
売上原価	10,422,551	12,888,095
売上総利益	4,422,589	1,240,690
販売費及び一般管理費	2,568,112	3,162,534
営業利益又は営業損失(△)	1,854,476	△1,921,843
営業外収益		
受取利息及び配当金	507	506
補助金収入	—	2,276
暗号資産評価益	556,035	—
暗号資産売却益	190,342	22,201
固定資産売却益	47,664	—
還付加算金	3,425	—
消費税等免除益	—	28,963
持分法による投資利益	284,801	—
投資事業組合運用益	2,990	12,070
その他	1,644	12,551
営業外収益合計	1,087,412	78,570
営業外費用		
支払利息	21,965	24,816
為替差損	79,289	98,672
暗号資産評価損	—	609,493
持分法による投資損失	—	601,240
その他	2,884	1,128
営業外費用合計	104,139	1,335,352
経常利益又は経常損失(△)	2,837,749	△3,178,625
特別利益		
投資有価証券売却益	—	65
新株予約権戻入益	9,398	—
特別利益合計	9,398	65
特別損失		
減損損失	41,088	1,906,092
投資有価証券評価損	470,119	8,296
関係会社株式評価損	—	145,643
事業構造改革費用	10,597	—
役員退職慰労金	—	150,000
特別損失合計	521,805	2,210,031
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,325,342	△5,388,591
法人税、住民税及び事業税	468,481	55,055
法人税等調整額	285,966	△177,299
法人税等合計	754,447	△122,243
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,570,894	△5,266,347
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,633	△136,625
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,598,527	△5,129,722

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,570,894	△5,266,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,814	△22,638
為替換算調整勘定	13,885	78,457
持分法適用会社に対する持分相当額	8,702	106,482
その他の包括利益合計	29,402	162,302
四半期包括利益	1,600,296	△5,104,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,627,930	△4,967,420
非支配株主に係る四半期包括利益	△27,633	△136,625

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したgumi Cryptos Capital Fund II Parallel, LP を持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これに伴う影響は、（会計方針の変更）に記載のとおりであります。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

(アイテム課金)

デジタル・コンテンツの収益のうちアイテム課金について、従来はアイテムに交換するためのポイント課金時に収益として認識しておりましたが、顧客のアイテム交換後の見積り利用期間に基づいて収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は311,761千円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ311,761千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は130,051千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	モバイル オンラインゲーム 事業	XR事業 (VR、AR、MR等)	ブロックチェーン 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	14,772,621	—	72,519	14,845,141
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	14,772,621	—	72,519	14,845,141
セグメント利益又は損失(△)	2,012,033	△122,803	△34,753	1,854,476

セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2021年5月1日 至 2022年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	モバイル オンラインゲーム 事業	XR事業 (VR、AR、MR等)	ブロックチェーン 事業	
売上高				
国内	11,116,008	—	5,971	11,121,980
海外	2,865,052	—	141,752	3,006,805
顧客との契約から生じる収益	13,981,061	—	147,724	14,128,786
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,981,061	—	147,724	14,128,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	13,981,061	—	147,724	14,128,786
セグメント利益又は損失（△）	△1,913,900	△44,513	36,570	△1,921,843

セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。また、収益分解情報は「国内」及び「海外」に区分し、モバイルオンラインゲーム事業においては日本語版タイトルの売上高を「国内」、海外言語版タイトルの売上高を「海外」として記載しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。これにより、従来の方法と比較して、モバイルオンラインゲーム事業では、当第3四半期連結累計期間の売上高は311,761千円減少し、セグメント損失は311,761千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。